

【研究ノート】

「グローバル教育」について¹

楊 世 英

問題所在

1990年代以降、経済グローバル化に伴い世界がグローバル化時代に入っていたと言われている。大学教育においても「グローバル教育」という言葉も使用されるようになった。「グローバル教育」という概念までは幅広く理解されている。これまでに地政学と経済開発論という視点から「グローバル教育」に対する定義があった²。要するに人的資源開発のために世界範囲で共通理解を基礎にして持続的発展できる社会を目指すという理念に基づき説明である。このような定義は方向性としては間違いない。しかし抽象的なイメージをもっていると言わざるを得ない。なぜならば、グローバル的な考え方を取り入れるだけで「教育」という内容を触れなかったからである。間違いなくグローバル化時代に学校教育には「グローバル要素」を素質教育に取り入れたことは大変重要である。だが、学歴教育を謳歌する大学は専門教育や教養教育に如何に「グローバル要素」を取り入れることは決して容易ではない。グローバル化時代の要請とはいえ、決して「グローバル教育」は単にグローバル化教育を足すわけではない。そこで、大学教育現場において「グローバル教育」に対して理解したうえ、「グローバル要素」を教育内容に取り入れることは重要であると考え³。

しかしながら本文では以上のような広義的に「グローバル教育」の考え方を断らなく大学教育現場という視点から「グローバル教育」と大学教育の核心であるカリキュラムとの関わりを着眼する。要するに授業科目の設置や時間配分、選択や必修など項目から「グローバル教育」とのつながりを探る。例えばこのような科目を履修した学生は実際に海外留学に役

¹ 本研究は2017年度学校法人東北学院個別教育研究助成金「教養学部における英米圏@アジア言語圏に海外留学を可能にする学生の本学授業科目および海外姉妹校履修内容を含めた履修モデルに関する実証研究」に基づいて研究調査により整理したものである。

² 例えば、2002年にマーストリヒトで開かれた欧州グローバル教育会議では最初にグローバル教育に対して議論された。またはじめて「グローバル」という視点から「グローバル教育」を定義できるように試みた。「グローバル教育」は、世界の現実に対して全ての人々の眼と心を開かせ、全ての人のためにより大きな正義、平等、人権が必要であることへの気付きを促すこと。グローバル教育は、開発教育、人権教育、持続可能な開発のための教育、平和と紛争防止のための教育、異文化間教育などを含み、市民教育のグローバルな側面を表している。

³ 「グローバル要素」とはここでは主にグローバル的な考え方を意味する。

を立つか。さらに漢字圏大学に留学するため語学能力以外に必要な異文化への理解に学生が履修できる教育科目という点に絞って分析を試みたい。事例として取り上げるは中国山東大学威海分校日本語学科と台湾の輔仁大学日本語学科である。

つまり学生が海外留学をできるために、学歴教育を受けながらいかに「グローバル教育」を受けられるか。留学というキーワードを入れると「語学力」と連想してしまう恐れがある。ここでは決して語学という面だけではないことを記しておきたい。そして学生本人から求めるのではなく教育側がどのようなメニューを提供できるのか。語学を含めた教育プランは学生の実情に適合だけではなく大学の教育体制や地域のニーズも合わなければならない。つまり世界的にグローバル化に伴い教育内容をスタンダード化しつつ、このようなニーズに反映しなければならない。このような問題意識でアジア漢字圏のいくつかいわゆる国際化が先に進んでおり、しかも東北学院大学とは姉妹関係ある大学を調査しながら留学のためカリキュラムを比較して大学教育カリキュラムのグローバル性を検討する。勿論、外国語教育は「グローバル教育」に対して大変重要だと認識されていることはいうまでもない。それについてまた別の機会に譲りたい。本文はできるだけ「カリキュラム」を中心に「グローバル教育」との関わりについて探りたい。いくつか問題点を見つければ本文の目的でもある。

当然ながら個々の大学では「グローバル教育」に対して様々なビジョンを持っている。単純に比較するのはやや乱暴することになる。しかしながらこのような比較を通していくつか示唆が得られれば大学教育に対して大変有意義である。なぜならグローバルという時代の流れはすでに国境を超えて世界に共通認識になっているからである。少なくとも最近二十年はそうである。われわれはこのような認識に基づいて研究調査を立案から実施するまで一貫している。

いわゆる「グローバル教育」とは教育学からいえば素質教育に如何にグローバル的な要素を取り入れるかが一般的な考え方である。要するに、価値観のグローバル化や知識のグローバル化などを教育現場に反映させることである。恐らくこれはよく理解されている「グローバル教育」ではないかと思われる。これはあくまでも広義的な議論である。大学教育の視点から見ると、具体的に「グローバル教育」とは何であろうか。大変難しい問題となる。にもかかわらず、「グローバル教育」内容を制定するために「指針」というようなものすらない。現在、教育現場で行われたのは「グローバル教育」より「国際理解」のような程度に留まるのがしばしば指摘されている。

さて、具体的に学校教育に最も重要な授業科目あるいはカリキュラムを通して「グローバル教育」を如何に反映するか。そしてそのようなカリキュラムが学生の「グローバル的素質」を形成にどのような影響を与えられるかは本文の強い思いである。

グローバル化している 21 世紀において大学が生き残るため、幅広く国際交流が社会的要請され、同時に大学の人材養成が要求されると思われる。残念ながら、日本の大学では国際交流協定校数・留学交流人口（受け入れ、派遣留学）から見れば、日本の大学の国際交流は時代遅れといわざるをえない。こんな言い方をするのも、決して悲観して言っているのではない。つまり、ここからスタートしなければならないということである。千載一遇のチャンスとも言える 1990 年代からの国際的なグローバル化は、大学の教育環境にも大きく影響を及ぼし、国際的な教養を有するグローバル化人材の養成は、文部科学省だけではなく時代の要請として語られている。大学の理念そのものについてはともかくとして、時代の流れや要請に応えることが肝要だと思われる。まさに今も、岐路に立たされているのだと考えている。

中国山東大学威海分校と台湾輔仁大学のケース

そうであれば、大学教育現場はどの状況に置かれているかを見ることにする。ここで取り上げたのは中国山東大学威海分校と台湾輔仁大学である。この二つの大学はともに国際交流が進んで、比較的に海外留学制度が整備されている。大学四年間「学歴教育」と「海外留学」を同時にできると提唱している。

輔仁大学は 1927 年設置された台湾の有名な私立大学である。学生規模から言えば台湾の最大である。海外からの留学生は多く、日本大学との間多くの姉妹校を持っている。同時に全世界範囲で国際交流を行い、留学生派遣や受け入れの歴史が長く教育環境が優れたと評判されている。輔仁大学は世界に 139 大学と交流し、様々な交換留学プログラムを積極的に取り組んでいる。この意味でかなり国際化が先進的な大学といえる。日本に派遣している留学生は日本語学科の学生が多かった。そこで今回は入手できた輔仁大学日本語学科のカリキュラムを考察することは大変重要な意味をもっている。なぜならば「グローバル教育」の要素は如何に授業科目に反映するかがわれわれ関心ところからである。

それでは、輔仁大学日本語学科は派遣留学のためにどのような応急教育を行われてきたか。どんな授業科目を開設しているか。また、選択科目と必修科目はどの比例で開講しているか。科目の学年配置はどうなっているかという問題意識で資料を調べた結果を整理して次のように述べる。

まず開講科目は必修と選択を分けている。学生は所定の単位数を満たせば選択科目が自由に選べる。そして語学系授業あるいは日本語に関わる授業は各学年に配置している。日本語能力を強化したい学生は学年を問わず日本語授業を履修できるのが特徴的である。1 年生から 4 年生まで日本語基礎文法や会話が学習レベルに応じてクラス分けをして配置してすべて

必修科目となっている。残念ながら作文技法授業は2年生から必修科目となっている。配当時間数は少ない。そのほかには日本語文法論・日本政治外交・日本文学・日本語語彙論などは日本社会を理解するために最小限度に必修科目がある。しかし留学するためにリスニング会話の訓練を強化してネイティブ日本人教員まで配置しているが、必修ではなく選択授業となっている。そして日本文化論、日本史（古代史）、日本経済、日本社会（新聞、芸術）翻訳論などは選択科目として学生に提供する。科目設置から見ればごく一般的な学歴教育を行うイメージを見受ける。

ひいては「グローバル教育」と関わりであれば、「台日新聞比較」「台日比較文化論」といったくらい選択科目である。非常に少ないと思われる。必修科目と選択授業の開講時間比は大体3:1となっている。要するに大学学歴教育には日本語を専攻する学生向けのようなカリキュラムだと見える。日本語の基礎教育にプラス日本社会全般を紹介するようなイメージが強い。勿論、これは単純に開設科目から見た結果ではあるが、より詳しく授業の中身を検討する必要がある。例えば多くの日本へ留学した学生が抱えた問題としては、日本語日常会話ではなく、如何に日本語を活かしてレポート課題を取り組むことである。これについてどのような授業に反映できているのか。単に翻訳論を履修したとはいえ、しかも中国語式のような日本語レポートはよく見られる。結局日本に来てから日本語を再履修することとなる。このようなケースはしばしば指摘されている。勿論、このような問題は単に授業科目の配置から問題解決とは難しい。

一方中国山東大学威海分校の日本語学科では輔仁大学との状況は類似している。中国山東大学威海分校日本語学科のカリキュラムは参考資料として文末に添付している。「グローバル教育」素質教育より大学学歴教育カリキュラムに向いているといえる。中国山東大学威海分校日本語学科のカリキュラムの特徴とはいえば、日本語に関する授業科目が圧倒的に多い。日本語文法や作文も会話授業、とくにリスニング訓練授業科目は必修である。しかし語学授業のほかに日本社会全般に関する授業は日本文学以外に見当たらない。非常に少ないイメージである。必修と選択授業の開講時間比は2:1である。異文化理解に関しても翻訳論のみとなっている。また「グローバル教育」との関わりそうな授業科目は見当たらない。教育目標は日本語能力を重点に設定されている。本学に来ていた中国山東大学威海分校から留学生はほとんど日本語能力試験一級を持っている。日本語学習能力は非常に高い。にもかかわらず日本社会や歴史・経済知識などについてほとんど触れたことはなかった。もう一つは、中国山東大学威海分校日本語学科は中国語や第二外国語に力を入れている。中国語を強化する目的は学生が中国国内に就職するために「国語」力が強く要求されているである。第二外国語の単位は多かった。英語をはじめヨーロッパ諸国の言語やアジア漢字圏の韓国語も

大変人気そうである。本学に来ている中国山東大学威海分校日本語学科からの留学生の英語は日常会話だけではなく英作文もできる。英米圏大学に留学できる力を持っている。総じていえば中国山東大学威海分校日本語学科のカリキュラムは日本語学科の学歴教育をメインになっている。むしろ「グローバル教育」は英語教育あるいは第二外国語教育だと捉えている。

「グローバル教育」のビジョンとこれからの課題

「異文化共生社会」におけるグローバルな人材を育成するために、カリキュラムのグローバル化は勿論、まず大学間の連携は必要である。大学は協定校と教育連携コンソーシアムを形成し、共同教育プログラムを運営することが望ましい。そして戦略的協定校を選んで共通教育科目を提供しあうとともに、留学プログラムを相互に利用可能とすることにより、国際教育プログラムを共通ソフトウェアとして整備、共有し相互に活用する仕組みであることは大変重要である。

一般的には大学間の交換留学生は短期と長期を分けて相互に単位認定をするケースはほとんどである。語学力を補うために半年間語学補修期間を経てから留学プログラムに入るのは普通である。そこで例えば、漢字圏大学に留学するため何にかが必要であるか。まず、国際教育プログラムは必要である。国際教育プログラムは一般的に語学プログラムと国際教養プログラムから構成している。語学力以外にグローバル化人材必要とする知識を取得することは目的である。その中には地域環境学、地域文化交流論、国際協力論などが挙げられる。そして異文化を接する能力育成するため、社会文化論や比較文化論といった科目の開設が要求される。さらに地域への理解は不可欠であるため、アジアないし世界と日本を知ることは大変重要であると考えられる。

より具体的に言えば、語学科目には英語・中国語・韓国語と、社会と文化関連科目が必須で外国語によるコミュニケーションを運営する能力を重視する。言語のコミュニケーション力をいっそう高める基礎的教養を身につける狙いである。

「グローバル教育」の教育内容はこういった内容であろうか。様々な理解があるため異なっている。ここではアジア地域において一つ例を考えておこう。アジアを理解するため、少なくとも何か最小限度の教育内容が必要かという、恐らく以下のように考えられる。

アジア地域論とは多角的な経済発展を示す生態・社会・文化が相関的に展開する実態に説明しながら生態・社会・地域相関に関する具体化した教育を内容とする。そしてアジア地域の進化論とはアジアの内発的経済発展および生態変動のエネルギーと方向性に焦点を絞っ

て、地域発展・地域変動というキーワードに地域の特徴を分析する。また生態環境論とはアジアの基盤をなす自然と、そこに住む人間の活動との相互作用によって形成される生態環境の特質を明らかにするため、自然生態と社会生態に関する教育を内容とする。また国際地域論というような科目はアジアと世界を理解しながら地域の特性を明らかにする。こうした教育内容をうまくカリキュラムに組み込んでいくことで国際教養を育成する。これはいわゆる「グローバル教育」の基本である。

大学間の教育交流が目指すものは決して経済的グローバリゼーションではないし、勝者連合または金持ちクラブのような教育交流が有意義であるとも思えない。対等に交流してくれる、よきパートナーを探す努力が大変重要である。

まず、長期構想として、「大学国際交流圏の形成」を課題として上げられることができる。文化・価値観の共有化に基づき国際交流圏を実現することは、国際交流の基礎でもある。その第一歩はたとえば、アジア交流回廊の構想である。つまり、漢字圏文化を共通としている日本、中国、韓国、シンガポール、さらにタイ・マレーシアといったASEAN諸国、これらの国々に留学することによって異文化を身につけ、より多文化共生社会に高度なグローバル技能が習得できることになる。留学（長期・短期）、海外インターシップを通して日本の東・東南アジア産業集積地に就職し、将来は日本に戻って国際化人材になる。この意味での「回廊」である。欧米圏については、自由な価値観に基づいた先進国近代社会の有様を経験することにより、これらの経験を日本社会に生かすことが期待できる。

留学は「グローバル教育」を実施するための一つ手段にすぎない。すべて留学で「グローバル教育」を完成できることはない。しかし留学の役割は非常に大きいとは否定できない。短期的には、留学（受け入れ、派遣）は日本語教育を中心とした国際交流教育体制が整備必要である。日本語学教育・日本事情をはじめとした現代日本社会を紹介する講座をより充実させながらリニューアルしていく必要がある。大学を通して日本の大学の良さを発信してもらい、場合によっては姉妹大学を通して推薦してもらおう。これこそ本当の意味での姉妹大学である。また、良質な留学生を確保することは何より一番重要である。

派遣留学についても当然ながら、将来的には国際教養を養成するには、理想論として「国際教育科目」をカリキュラムに組み込むことである。単発のイベントではなく、体系的な国際教育を行うことは効果的である。実効性あるものとして、まず、国際交流啓発教育が必要である。国際理解、国際交流の雰囲気づくりのことである。学生諸君は海外に留学したいのだ。海外に出てみようという気持ちを引き出すことである。

総じて言えば、われわれは現実と理想の間で、可能性のあるところからスタートしなければならないのである。「グローバル教育」に関わる行政は、普通の大学行政とは異なり、人

によるだけではなく、社会的マクロ環境に合わなければならない点もある。「国際社会では、自分は何ができるかが基準となる」と言われる意味で、経済活動がグローバル化していくなか、大学名に頼らず独自の方法で学生の国際教養を見極める企業も出始めたので、この意味において大学教育も変わらざるをえなくなっていると思われる。

そして、国際的言語・文化を発信できるような体制づくり、多文化・多言語それから「クールジャパンを活用した日本文化の発信」、外国人を対象とした日本文化（伝統文化・日本文化・ポップカルチャー等）発信のための取り組みを実施する体制づくり、場合によって国際教育コースのようなものを作り、正規の講義科目ではない、外国人を主たる対象としたプログラムを作ることである。これによって魅力的なグローバリゼーション型プログラムを作ることができるかどうか重要だと思われる。

国際的な言語教育コースを作ることによって、そのメリットは日本人高校生から見ればグローバル色がある大学と見えることになり、外から見れば国際的な大学であることが想像されることになる。それは、留学に繋がると考えている。

グローバル化などの社会的変化を見据え、外国語科目以外の専門科目を全て英語で講義する科目を複数配置することを大変意味あることである。これを実現することで学生の英語力が向上し、世界で活躍する人材の育成に繋がる。また、英語での講義は欧米からの外国人留学生にとって魅力となり、外国人留学生の増加も期待される。多くの学生を海外の大学に派遣し、外国人留学生を数多く受け入れるには世界各国の大学と交流を図ることが重要であることは言うまでもない。そのネットワークを活用して交換留学や海外研修など国際交流の機会を学生に提供していくことも大学の使命と考える。

「グローバル教育」を実現するための有効手段は大学が国際交流圏を形成させることである。まず文化・価値観の共有化に基づき国際交流圏を考えられる。

第1はアジア圏交流回廊です。つまり、漢字圏文化を共通としている日本、中国、韓国、シンガポール、さらにタイ・マレーシアといったASEAN諸国、これらの国々に留学することによって異文化を身につけ、より多文化共生社会に高度なグローバル技能が習得できることになる。留学（長期・短期）、海外インターンシップを通して日本の東・東南アジア産業集積地に就職し、将来は日本に戻って国際化人材になる。

第2は欧米圏交流回廊である。自由な価値観に基づいた先進国近代社会の有様を経験することにより、これらの経験を日本社会に生かすことが期待できる。アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランスなどを想定している。たしかにこれらの理想的な交流圏を実現するのは難しいであろうか。しかしアジアから見ても世界から見ても必要である。

参考資料

中国山東大学威海分校日本語専攻（4 年制）カリキュウラム

日语专业教学计划

学科门类 文学 专业代码 050207 授予学位 文学学士

◆培养目标

培养德、智、体全面发展，具有较高文化素养，较强的实际工作能力，具有扎实的日语语言基础和专业技术的复合型高级专门人才。

◆培养规格

本专业培养具有系统的日语语言文学知识和广博的科学文化知识，并能熟练地运用日语在教育、经贸、外事、文化、宣传、科研等部门从事教学、翻译、研究、管理等工作的德才兼备的高级应用型复合日语人才。

毕业生必须获得以下方面的知识和能力：

1. 了解我国外事、经贸、法律等方面的方针、政策和法规，了解我国国情，以及日本的社会和文化，日本文学及相关的人文和科技方面的基本知识；
2. 掌握日语专业知识，通过国际日语水平一级考试或日语专业八级考试；具有扎实的日语语言基础和熟练的听、说、读、写、译等综合运用日语的实际能力；
3. 具有较好的汉语表达能力和较高的第二外语实际运用能力，第二外语英语达到全国大学英语四级或六级水平；
4. 掌握网络应用，文献检索，资料查询的基本方法，具有初步的科学研究和实际操作能力；
5. 具有分析与综合，抽象与概括，多角度分析问题等多种思维能力以及发现问题，解决问题等创新能力。

◆主干课程

基础日语，日语会话，高级日语，日语阅读，日文写作，翻译理论与实践，日本文学史。

◆实践环节及学时 / 学分

毕业实习，4 周，4 学分；毕业论文，8 周，6 学分。

◆学分分配

项 目	准予毕业学分	通识教育课程	学科基础课程	专业主干课程	专业选修课程	实践技能训练
日语专业	171.5	39.5	50.5	37	26.5	18

◆通识教育课程 39.5 学分，其中必修 27.5 学分左右，必选 6 学分，限选 ≥ 6 学分。

课程编码	课程名称	学分	学 时		修课要求 考核方式	先修课程	建议选修学期
			讲授	实践			
95001000	道德与法律	3	36	12	必修, 考试		1
91001001	马克思主义基本原理	3	48	16	必修, 考试		4
91010000	中国近现代史纲要	2	32	16	必修, 考试		5
91002001	中国化马克思主义概论	6	48	32	必修, 考试		2
95005010	形势与政策 (1)	0.5	12	12	必修, 考试		1
95005020	形势与政策 (2)	0.5	16	16	必修, 考试		2
95005030	形势与政策 (3)	0.5	16	16	必修, 考试		4
95005040	形势与政策 (4)	0.5	16	16	必修, 考试		5
95005050	形势与政策 (5)	0	16	16	必修, 考试		7
95005060	形势与政策 (6)	0	16	16	必修, 考试		8
95005070	形势与政策 (7)	0	16	16	必修, 考试		10
93001010	体育 (1)	1	24		必修, 考试		1
93001020	体育 (2)	1	32		必修, 考试		2
93001030	体育 (3)	1	32		必修, 考试		4
93001040	体育 (4)	1	32		必修, 考试		5
94002000	计算机文化基础	3	32	32	必修, 考试		2
95002000	军事理论课	1	12		必修, 考试		1
63079000	现代汉语	1.5	24		必修, 考试		1
63080000	古代汉语	2	32		必修, 考试		2
合计		27.5	492	204			

限选, 任选课程见通识教育课程目录, 共 12 学分。

◆学科基础课程 50.5 学分，其中必修 37.5 学分左右，必选 13 学分。

课程编码	课程名称	学分	学 时		修课要求 考核方式	先修课程	建议选修学期
			讲授	实践			
63075000	日语语音	1	8	16	必修, 考试		1
63013011	基础日语 (1)	4	48	24	必修, 考试	日语语音	1
63013021	基础日语 (2)	5	64	32	必修, 考试		2
63013031	基础日语 (3)	1		16	必修, 考查		3
63013041	基础日语 (4)	5	64	32	必修, 考试		4
63013050	基础日语 (5)	5	64	32	必修, 考试		5
63027011	日语会话 (1)	1.5		48	必修, 考试		1
63027021	日语会话 (2)	2		64	必修, 考试		2
63027032	日语会话 (3)	0.5		16	必修, 考查		3
63027041	日语会话 (4)	2		64	必修, 考试		4
63027051	日语会话 (5)	2		64	必修, 考试		5
63105010	基础日语综合练习 (1)	2	24	24	必选, 考查		1
63105020	基础日语综合练习 (2)	2.5	16	48	必选, 考查		2

63105030	基础日语综合练习 (3)	0.5		16	必选, 考查		3
63105040	基础日语综合练习 (4)	2.5	16	48	必选, 考查		4
63105050	基础日语综合练习 (5)	2.5	16	48	必选, 考查		5
63028011	日语听力 (1)	1		24	必修, 考查		1
63028021	日语听力 (2)	1		32	必修, 考查		2
63028032	日语听力 (3)	0.5		16	必修, 考查		3
63028041	日语听力 (4)	1		32	必修, 考查		4
63028050	日语听力 (5)	1		32	必修, 考查		5
63032000	日语语法	2	32		必修, 考试		4
63019000	日本概况	2	32		必修, 考试		4
63106020	日语听写 (2)	1	6	26	必选, 考查		4
63106030	日语听写 (3)	1	6	26	必选, 考查		5
63029030	日语网上阅读 (3)	1	10	22	必选, 考查		10
合计		50.5	406	802			

◆专业主干课程 必修 37 学分

课程编码	课程名称	学分	学 时		修课要求 考核方式	先修课程	建议选修学期
			讲授	实践			
63009011	高级日语 (1)	5	64	32	必修, 考试		7
63009021	高级日语 (2)	5	64	32	必修, 考试		8
63009032	高级日语 (3)	5	64	32	必修, 考试		10
63107010	高级日语综合练习 (1)	1.5	10	22	必修, 考查		7
63107020	高级日语综合练习 (2)	1.5	10	22	必修, 考查		8
63031010	日语阅读 (1)	4	64		必修, 考试		5
63031020	日语阅读 (2)	4	64		必修, 考试		7
63007010	翻译理论与实践 (1)	2	24	8	必修, 考试		7
63007020	翻译理论与实践 (2)	2	24	8	必修, 考试		8
63007030	翻译理论与实践 (3)	2	24	8	必修, 考试		10
63034011	日文写作 (1)	1.5	14	18	必修, 考查		7
63034021	日文写作 (2)	1.5	14	18	必修, 考查		8
63022000	日本文学史	2	32		必修, 考试		8
合计		37	472	200			

◆专业选修课程 (组) 共 29.5 学分, 其中必选 25.5 学分, 限选 4 学分 (限选课须选够 1 学分以上)。

课程编码	课程名称	学分	学 时		修课要求 考核方式	先修课程	建议选修学期
			讲授	实践			
63006011	二外英语 (1)	1.5	24		必修, 考查		1
63006021	二外英语 (2)	2	32		必修, 考查		2
63006031	二外英语 (3)	2	32		必修, 考查		4
63006041	二外英语 (4)	2	32		必修, 考查		5

「グローバル教育」について

63006050	二外英语 (5)	2	32		必修, 考查		7
63006060	二外英语 (6)	2	32		必选, 考试		8
63006070	二外英语 (7)	4	64		必选, 考试		10
63023000	日本語概论	2	32		必选, 考查		6
63025000	日语古典文法	2	32		必选, 考查		7
63021000	日本文化史	2	32		必选, 考试		8
63108000	商务日语	2	24	8	必选, 考查		10
63033010	影视作品欣赏 (1)	1		32	限选, 考查		7
63033020	影视作品欣赏 (2)	1		32	限选, 考查		8
63030000	日本文学作品赏析	2	32		必选, 考查		10
63015000	科技日语	2	24	8	限选, 考查		8
合计		29.5	424	80			

◆实践技能训练课程

共 20.5 学分, 其中必修 11 学分, 必选 3.5 学分, 限选 6 学分 (限选课须选够 3.5 学分以上)。

课程编码	课程名称	学分	学时		选课要求 考核方式	先修课程	建议选修学期
			讲授	实践			
63109000	日本当红作家名作赏析	0.5	8		限选, 考查		9
63029010	日语网上阅读 (1)	0.5	4	12	限选, 考查		6
63029020	日语网上阅读 (2)	0.5	4	12	限选, 考查		9
63106010	日语听写 (1)	0.5	8		必选, 考查		3
63106040	日语听写 (4)	0.5	8		必选, 考查		6
63110000	生活在日本	0.5	8		限选, 考查		9
63111000	日语公文书信格式介绍	0.5	8		限选, 考查		6
63112000	日企就职前培训	0.5	8		限选, 考查		9
63113000	大学英语四级考试辅导	0.5	8		必选, 考查		6
63114000	大学英语六级考试辅导	0.5	8		必选, 考查		9
63115000	读解提高篇	1	8	8	限选, 考查		6
63116000	读解挑战篇	1	8	8	限选, 考查		9
63117000	日语词汇学概论	1	16		必选, 考查		6
63118000	论日本人	0.5	8		必选, 考查		6
63119000	日本史漫谈	0.5	8		限选, 考查		9
63120000	日语古典文学作品选读	0.5	8		限选, 考查		9
63036302	毕业实习	4		4 周	必修, 考查		11
63035600	毕业论文	6		8 周	必修, 考查		11
95002600	军事技能训练	1		2 周	必修, 考查		1
合计		20.5	128				